




令和5年度 基本評価調書		所管部局	経済部	所管課	観光局観光振興課		
施策名	滞在交流型観光地づくりの推進			施策コード	0515		
政策体系(中項目)	道民をはじめ国内、そして世界中から愛される「観光立国北海道」の実現			政策体系コード	2(6)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略 強靱化計画 Society5.0推進計画 ゼロカーボン					事務事業数	15
特定分野別計画	北海道観光のくにづくり行動計画						
SDGs				総合判定	やや遅れている		
予算額(千円)	R 5	546,799千円	R 4	844,963千円	R 3	895,733千円	

施策目標	<p>広大で豊かな自然や食、文化といった本道が誇る観光資源を活用し更なる価値を高めるため、アドベンチャートラベルに代表される長期滞在や富裕層向けの旅行商品の開発をはじめ、多様化する観光ニーズに対応するための観光地づくりの推進や、本道の観光産業を支える人材の確保や育成の推進などにより、北海道観光のさらなる高付加価値化を図る。</p>
現状と課題	<p>(アドベンチャートラベルに代表される付加価値の高い観光地づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドベンチャートラベル・ワールドサミット(A TWS)の開催を契機として、北海道観光の主要な柱の一つであるアドベンチャートラベル(AT)を一層推進するため、人材育成や戦略的な市場開拓等の取組を推進する必要がある。 (多様化する観光ニーズに対応した観光地づくり) ・コロナ禍を経て多様化する観光ニーズに対応し満足度の高い観光地づくりを推進するため、地域のブランド力を高め、観光消費額の拡大を図る必要がある。
前年度二次評価意見	<p>総合計画に掲げる、「観光立国北海道」の再構築のため、道内観光の高付加価値化や、観光客の満足度向上と連動した消費単価の向上が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
対応状況	<p>アドベンチャートラベルに代表される観光の高付加価値化に向け、プロモーションをはじめ、新たなガイド制度の導入による「稼げるガイド」をはじめとする観光人材の確保・育成などに取り組むとともに、地域の観光協会等が実施する新たな商品づくりへの支援に取り組む。</p>

〈主な取組〉

今年度の取組	<p>(アドベンチャートラベルに代表される付加価値の高い観光地づくり)</p> <p>本年9月に、アジアで初めて北海道を舞台にリアル開催されるA TWSにおいて、道内の魅力をA TWSに参加するバイヤー・メディア等にPRする。また、A TWS開催を契機に、道民理解を深め機運の醸成を図れるようシンポジウムを開催するほか、A Tツアー商品造成やA Tの魅力の情報発信を行う。(ポストコロナ)</p> <p>(多様化する観光ニーズに対応した観光地づくり)</p> <p>コロナ禍を経て多様化する観光ニーズに対応するため、ゼロカーボンの推進をはじめ、ワインツーリズムやケアツーリズムの推進、ナイトタイムエコノミーの促進など、地域の観光協会等が主体となった商品開発等の取組を重点的に支援する。また、地域の「稼ぐ力」を引き出すDMOへの支援を重点的に行う。(ポストコロナ)</p>
実績と成果	<p>(アドベンチャートラベルに代表される付加価値の高い観光地づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を生かした観光地づくり推進事業において、DMO申請枠を導入し、ワーケーションや観光のDX化をはじめとする商品開発支援を実施した。【R4年度実績】DMO枠3件、地域単独枠54件、広域連携枠34件(ポストコロナ) ・R3.7月に北海道観光審議会に部会を設置し、新たなガイド制度について検討を進め、本年7月に施行、運営を開始した。アドベンチャートラベルの受入拡大に向けて、ガイドの育成研修を道内各地で開催した。(R2:9回、R3:23回、R4:21回)(ポストコロナ) (多様化する観光ニーズに対応した観光地づくり) ・道内を10のエリアに区分けし地域開発事業としてモニターツアーや旅行会社との意見交換等を実施し、OTA商品を掲載したほか、訪日外国人旅行者周遊促進におけるレンタカー活用のためのGoogle Mapデータ整備により道内周遊促進の一助となった。(ポストコロナ)
参考HP①	北海道観光のくにづくり行動計画について https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/252-kodo_keikaku/koudoukeikaku.html
参考HP②	北海道観光振興機構 観光統計データ レポート一覧 https://statistics.visit-hokkaido.jp/pdf/
参考HP③	北海道公式観光サイト https://www.visit-hokkaido.jp/

令和5年度 基本評価調書

【2(6)A_0515】滞在交流型観光地づくりの推進

〈指標分析〉 ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	円	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
観光消費額（道内客1人当たり）	目標値		13,927.0	14,000.0	14,200.0	15,000	69.8%	D
	実績値		13,432.0	9,439.0	9,910.0			

設定理由 旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標であり、課題である付加価値の高い、観光ニーズに対応した観光地づくりの取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査、6月頃暫定値・10月頃確定値公表 **出典（根拠計画等）** 北海道観光振興機構「北海道来訪者満足度調査」

分析（主な取組と成果）

「どうみん割」等の施策効果もあり観光需要の回復も見られたが、感染症の拡大により旅行需要が減少し、道内客では交通費や買い物代、飲食費などにおいて減少がみられた。【観光総消費額】R4：12,923円(R5.6月時点暫定値)

指標名②	増加	円	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
観光消費額（道外客1人当たり）	目標値		75,268.0	76,000.0	76,600.0	79,000	102.9%	A
	実績値		70,773.0	67,733.0	78,811.0			

設定理由 旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標であり、課題である付加価値の高い、観光ニーズに対応した観光地づくりの取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査、6月頃暫定値・10月頃確定値公表 **出典（根拠計画等）** 北海道観光振興機構「北海道来訪者満足度調査」

分析（主な取組と成果）

「どうみん割」等の施策効果もあり観光需要の回復も見られ、道外客では交通費と買い物代において増加がみられた。【観光総消費額】R4：79,164円(R5.6月時点暫定値)

指標名③	増加	万人	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
宿泊客延数（国内客）	目標値		3,000.0	3,100.0	3,200.0	3,500.0	93.9%	B
	実績値		1,830.0	1,856.0	3,004.0			

設定理由 旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標であり、課題である付加価値の高い、観光ニーズに対応した観光地づくりの取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査、9月頃公表 **出典（根拠計画等）** 北海道経済部観光局観光振興課「北海道観光入込客数調査報告書」

分析（主な取組と成果）

新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限がなく、「どうみん割」や「HOKKAIDO LOVE割」による旅行支援の実施や、水際措置の大幅緩和などにより、前年度と比べ増加傾向にあるほか、感染拡大前の令和元年度を上回る水準まで回復した。

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 道内において、アドベンチャートラベルの認知度や理解促進が不十分であり、ATWS2023の開催や、開催後の定着に向けて、道内自治体や関係団体、企業等が一体となって機運の醸成をすすめることが必要。
	(取組) アドベンチャートラベル・ワールドサミットの開催に向けて、機運醸成の取組を実行委員会各機関やパートナー企業等と連携し実施している。(参加申込は、7月17日時点で643名) 新しいガイド制度「北海道アドベンチャートラベルガイド」制度を7月18日に施行、運営を開始した。
緊急性 優先性	(課題) 訪日外国人来道者数(実人数)はH30年度に過去最高の312万人となったが、感染症の影響により、R2年度以降は国内外問わず旅行需要の低迷が続いており、早期回復を図るためのプロモーションや観光需要喚起策など総合的な支援を継続的にを行うことを国に要望を行っている。(R5年6月)
	(取組) ポストコロナにおいては、地域の特性を活かした新たな商品づくり等の取組や、消費額の高いアドベンチャートラベルを柱とする本道観光の振興が重要であることから、休暇分散化の検討や地域の取組への支援について継続的に国に要望を行っている。(R5年6月)

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

□ 成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
観光消費額（外国人観光客1人当たり）	138,788円 (R元年度)	調査なし (R2年度)	調査なし (R3年度)
分析等			
(課題) 水際対策の大幅な緩和に伴う外国人観光客の需要回復と、世界的な競争を勝ち抜くための、付加価値の高い観光地づくりや、観光消費額の高い外国人観光客のさらなる獲得が課題。			C
(分析等) 令和4年度4月～12月までの観光入込客数（外国人観光客）は、水際対策の大幅な緩和に伴う影響の実施もあり、21万人となった。(コロナ禍前の令和元年度同期比89%減少)令和5年度から、観光消費額（外国人観光客1人当たり）の調査を再開しているところで、引き続き分析等進めている。			
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
北海道アウトドアガイド認定数	46人 (R2年度)	29人 (R3年度)	53人 (R4年度)
分析等			
(課題) アドベンチャートラベル(AT)を一層推進するため、人材育成の取組を推進する必要がある			b
(分析等) アウトドア活動の振興を図り、地域に根ざした人材の育成・確保を図る上で、北海道アウトドア資格制度は、重要な役割を果たしている。			
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
圏域別の宿泊延べ数（道央広域）	51% (R2年度)	54% (R3年度)	54% (R4年度)
分析等			
(課題) 全道の宿泊延べ数は、道央エリアに半数以上が集中しており、地域偏在が大きい状態となっている。			b
(分析等) 全道の宿泊客数の半数以上を道央が占めており、依然として地域に偏りがある。			

〈総合判定〉

指標判定	B	連携状況	○	総合判定	やや遅れている
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	c		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

(観光消費額(道内客1人当たり)－宿泊客延数(国内客))

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	道内客の観光消費額は感染症の拡大により低調となっているが、観光消費額の向上には、地元(道民)が誇りと愛着を持って自然環境や多様で豊かな文化を大切に守りながら、地元を楽しめる観光地づくりが必要と考えられることから、魅力的な地域資源の価値を広く発信する。
	②	道外客の観光消費額は感染症の拡大により低調となっているが、観光消費額の向上にはモノ消費からコト消費への転換に対応することが必要と考えられることから、観光客のニーズ変化を捉え、変化に対応できる観光コンテンツの磨き上げや質の高い人材育成に取り組む。
	③	観光消費額や宿泊客延数は感染症の拡大により低調となっているが、ポストコロナにおいては、地域の特性を活かした新たな商品づくり等の取組や、満足度の高い受入体制の整備や情報発信イベントなどのプロモーションに取り組む。

〈二次政策評価〉

二次政策評価	<p>【施策目標の達成状況】</p> <p>総合計画に掲げる、「観光立国北海道」の再構築のため、コロナ禍を経て多様化する観光ニーズに対応し満足度の高い観光地づくりの推進や地域のブランド力を高め、観光消費額の拡大が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
--------	--

令和5年度 事務事業評価調書				施策名	滞在交流型観光地づくりの推進	施策コード	0515
----------------	--	--	--	-----	----------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見		
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性	
0301		一般	アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023開催推進費	「アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023」の開催に係る経費を負担する。	観光振興課	0	49,750	49,750	6.0	0.00	6.0	96,790				
0302		一般	地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費	地域の観光協会等が実施する新たな商品づくり等の取組を支援し、地域経済の活性化を図る。	観光振興課	0	180,980	0	0.3	0.00	0.3	183,332	①②③	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書<二次政策評価>参照	
0303		一般	アドベンチャートラベル推進事業	ATWSの開催を契機として、アドベンチャートラベルを道の代表するツーリズムの一つとするため、商品造成や戦略的な市場開拓等の取組を実施	観光振興課	0	83,880	83,880	0.3	0.00	0.3	86,232	①②	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書<二次政策評価>参照	
0304		一般	アウトドア活動振興環境整備事業費	アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営を通じ、アウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成・確保を図るなど、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。	観光振興課	0	368	239	0.3	0.00	0.3	2,720				
0306		一般	広域観光周遊促進事業費	外国人観光客等の道内7空港を核とした周遊を促進するため、地域で魅力ある観光地づくりを推進するとともに二次交通の利便性向上により、地域偏在の解消を図る。	観光振興課	0	108,520	108,520	0.8	0.00	0.8	114,792				
0308		一般	広域連携DMOとしてのデジタルマーケティング事業費(デジタル田園都市国家構想交付金)	観光誘客促進を図るため、マーケティングデータの収集・分析等を実施する。	観光振興課	0	44,264	22,132	0.8	0.00	0.8	50,536				
0309		一般	北海道観光誘致推進事業費(受入体制整備)	北海道全体の観光ホスピタリティの充実を図ることにより、来道観光客の満足度を高めリピータの確保や新たな観光客の創出に繋げるため、観光業界の中心的団体である(公社)北海道観光振興機構が全道的見地に立って実施する観光ホスピタリティ推進事業に対し、必要な助成を行う。	観光振興課	0	2,700	1,350	0.3	0.00	0.3	5,052				【事務事業のコスト】 道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。
0310		一般	北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営費	道が高い競争力を持つ「食」と「観光」の分野において、その魅力をアピールする総合情報拠点として札幌市との連携により整備した「北海道さっぽろ『食と観光』情報館」を運営する。	観光振興課	0	37,695	27,913	0.3	0.00	0.3	40,047				
0311		一般	ユニバーサルツーリズム推進事業費(デジタル田園都市国家構想交付金)	道内観光に求められるニーズの多様化を受け、誰もが安全・安心に道内旅行を楽しむことをできる環境を整備する。	観光振興課	0	19,873	9,937	0.3	0.00	0.3	22,225				
0313		一般	住宅宿泊事業法関連事業費	民泊を活用した誘客拡大と民泊による近隣住民とのトラブルの解消を目的とする「住宅宿泊事業法」を適正に執行するための経費。	観光振興課	0	13,073	13,073	2.0	1.40	3.4	39,729				
0314		一般	観光統計調査事業費	本道における観光入込客数等を調査し、道の観光振興施策推進の基礎資料とするほか、市町村や観光事業者等の活用に供する。	観光振興課	0	5,696	5,696	0.5	0.00	0.5	9,616				
0317		事務	観光客の受入体制整備に関する事務	観光客に対応するため、受入体制の整備を図る。(Wi-Fi、キャッシュレス、医療、レンタカー、災害対応等)	観光振興課	0	0	0	0.3	0.00	0.3	2,352				
0318		事務	地域イベントに関する事務	地域イベントに係る後援名義依頼、役員就任、行事への出席、キャンペーン支援	観光振興課	0	0	0	0.3	0.00	0.3	2,352				
0319		事務	その他内部管理事務	予算決算、文書管理、議会対応、職員の人事・服務・給与・福利厚生、物品管理、広報広聴、陳情要望、政策評価、企画立案など、局内の内部管理に関する事務全般	観光振興課	0	0	0	4.0	0.00	4.0	31,360				
0320		事務	観光局総合調整業務	観光局の各事務事業が円滑に執行されるよう管理する。	観光振興課	0	0	0	4.0	0.00	4.0	31,360				
計						0	546,799	322,490	20.5	1.4	21.9					